

函館商工信用組合の現況

(令和3年度上期の経営情報)

■ 開示項目のご案内 (索引)

・ごあいさつ	1 頁
・地域貢献活動とトピックス	1 頁
・預金・貸出金の状況	2 頁
・損益の状況	2 頁
・自己資本比率の状況	2 頁
・金利リスクに関する事項	2 頁
<金利リスク算定の説明>	3 頁下
・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	3 頁
・有価証券、金銭の信託等の取得原価 または契約価格、時価及び評価損益	4 頁
・有価証券種類別平均残高	4 頁
・貸出金業種別残高・構成比	4 頁

■ ごあいさつ

皆さまには、日頃より格別のご愛顧お引き立てを賜り、厚くお礼申しあげます。

このたび、当組合の現況（令和3年度上期の経営情報）をまとめましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧賜りたいと存じます。

本年度上期も融資残高は順調に推移しました。これも組合員をはじめとする皆さまのおかげと感謝しております。今後も身近な存在として、地域の皆さまに愛され、一層お役に立てる金融機関をめざしてまいりますので、引き続きご支援とご指導のほど心よりお願い申しあげます。

令和3年11月

函館商工信用組合

理事長 山本富靖

■ 地域貢献活動とトピックス (令和3年4月～令和3年9月)

6月	第65回総代会開催 (22日)
8月	株式会社はこだて西部まちづくRe-Designに出資
9月	しんくみの日週間で清掃奉仕・献血活動を実施

■ 預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

	令和2年度上期	令和3年度上期
預金積金	28,515	30,615
当座預金	420	435
普通預金	10,333	12,038
通知預金	—	—
定期預金	16,808	17,147
定期積金	921	958
その他の預金	31	34

	令和2年度上期	令和3年度上期
貸出金	18,639	18,685
割引手形	180	71
手形貸付	1,243	1,210
証書貸付	16,258	16,608
当座貸付	957	795

(注) 預金・貸出金の計数は期中平均残高で表示しております。

損益の状況

	令和2年度上期	令和3年度上期
業務純益	35	33
経常利益	33	38
当期純利益	31	44

■ 自己資本比率の状況

自己資本比率	令和2年度上期	令和3年度上期
	8.73%	9.00%

(注) 国内基準(4%)を上回る水準となっております。

■ 金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

金利ショックに対する 損益・経済価値の増減額	令和2年度上期	令和3年度上期
	206	174

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金 引当率 (C)/(A-B)
破産更生法債権及び これらに準ずる債権	令和02年9月末	58	41	16	58	100.00	100.00
	令和03年9月末	56	38	17	56	100.00	100.00
危険債権	令和02年9月末	201	121	73	194	96.47	91.14
	令和03年9月末	193	121	64	186	96.53	90.65
要管理債権	令和02年9月末	0	0	0	0	0.00	0.00
	令和03年9月末	0	0	0	0	0.00	0.00
不良債権計	令和02年9月末	259	162	89	252	97.26	92.68
	令和03年9月末	249	160	82	243	97.32	92.50
正常債権	令和02年9月末	18,841					
	令和03年9月末	19,209					
合 計	令和02年9月末	19,101					
	令和03年9月末	19,459					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債権者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等 (B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金 (C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

<金利リスク算定の説明>

<ul style="list-style-type: none"> ・計測手法 「金利ラダー表を使用したその他計算方式 (再評価法)」 ・コア預金 対象：別段預金を除く流動性預金 (当座、普通等) 算定方法： ①過去5年の最低残高、 ②過去5年の最大年間流出量を現残高から差引いた残高、 ③現残高の50%相当額、 以上3つのうち最小の額を上限 満期：5年以内 (平均2.5年) ・金利感応資産・負債 預貸金、有価証券、預け金、その他の金利・期間を有する資産・負債 ・金利ショック幅 1パーセンタイル値又は99パーセンタイル値 ・リスク計測の頻度 月次 (前月末基準) ・銀行勘定の金利リスク量は、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定しております。
--

■ 有価証券、金銭の信託等の取得原価または
契約価格、時価及び評価損益

(単位：百万円)

保有区分		貸借対照表 計上額	時 価	評 価 損 益
売買目的	令和02年9月末	-	-	-
	令和03年9月末	-	-	-
満期保有目的	令和02年9月末	400	401	1
	令和03年9月末	300	301	1
その他有価証券	令和02年9月末	2,682	2,682	-
	令和03年9月末	2,687	2,687	-
合 計	令和02年9月末	3,082	3,084	1
	令和03年9月末	2,987	2,989	1

- ・本表記載の有価証券の時価は期末日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。
- ・売買目的有価証券については時価を貸借対照表価額としており、評価損益については当期の損益に含まれております。
- ・満期保有目的有価証券については取得価格（償却原価法適用後）が貸借対照表価額として計上されております。
- ・その他有価証券については時価を貸借対照表価額としております。（時価のないものは帳簿価格で表示）
- ・「金銭の信託」及び「デリバティブ等商品」について当組合は取扱がありません。

■ 有価証券種類別平均残高

(単位：百万円・%)

区 分	令和2年度上期		令和3年度上期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
国 債	785	24.6	805	27.4
地 方 債	-	-	-	-
社 債	672	21.0	599	20.4
株 式	25	0.8	25	0.8
外国証券	1,706	53.4	1,501	51.1
その他の証券	0	0.0	0	0.0
合 計	3,191	100.0	2,933	100.0

(注)当組合は、商品有価証券を保有しておりません。

■ 貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円・%)

業 種 別	令和2年9月末		令和3年9月末	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
製造業	428	2.2	482	2.5
農業、林業	55	0.3	80	0.4
漁業	-	-	0	0
鉱業、採石業、 砂利採取業	20	0.1	16	0.1
建設業	2,423	12.7	2,664	13.7
電気、ガス、 熱供給、水道業	15	0.1	-	-
情報通信業	28	0.1	25	0.1
運輸業、郵便業	36	0.2	47	0.2
卸売業、小売業	1,584	8.3	1,616	8.3
金融業、保険業	226	1.2	96	0.5
不動産業	7,209	37.8	6,939	35.7
物品賃貸業	11	0.1	10	0.1
学術研究、 専門・技術サービス業	96	0.5	106	0.5
宿泊業	33	0.2	34	0.2
飲食業	623	3.3	686	3.5
生活関連サービス業、 娯楽業	879	4.6	1,142	5.9
教育、学習支援業	2	0.0	1	0.0
医療、福祉	42	0.2	37	0.2
その他のサービス	873	4.6	958	4.9
その他の産業	197	1.0	122	0.6
小 計	14,788	77.6	15,069	77.6
地方公共団体	3	0.0	1	0.0
雇用、能力開発機構等	-	-	-	-
個人（住宅・消費 ・納税資金等）	4,266	22.4	4,354	22.4
合 計	19,058	100.0	19,424	100.0

函 館 商 工 信 用 組 合

〒040-0033 函館市千歳町9番6号

電話 0138-23-2101

F A X 0138-26-6036